

# 日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所  
162-0805 東京都新宿区矢来町 65  
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175  
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

## 「心を裂き、主に立ち帰る」

—不安や痛み、災いの中であって—

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

「あなたがたの衣でなく心を裂き／あなたがたの神、主に立ち帰れ。／主は恵みに満ち、憐れみ深く／怒りに遅く、慈しみに富み／災いを下そうとしても、思い直される。」

(ヨエル書2:13、聖書協会共同訳)

2月7日まで11都府県に緊急事態宣言が出され、「マスクを着用し、外出を自粛してください」と新宿区では毎日正午と18時に防災無線が流れています。病床にある方々の癒しを祈り、医療や福祉に携わる方々に感謝したいと思います。

各教区事務所では在宅勤務や就業時間の短縮などを行ない、各教会では公祷の休止や出席人数の限定、礼拝のWeb配信や説教などを郵送で届けるなど、昨年から引き続いて様々な工夫をしながら信仰生活を守っておられると思います。

教会や教区では、地域の状況によって判断や対応は異なりますし、お一人お一人の生活環境や立場によって思いや考え、行動は様々です。私たちは感染拡大防止と、聖餐に与る共同体としての在り方の狭間で、大きな葛藤の中にありますが、互いに違いを認め合い、弱い立場にある方々に配慮し、最善の道を祈り求める「聖公会らしさ」に生きているということでもあるのだと思います。

新しい年を迎え、堅信受領者総会を行なう時期になりましたが、書面決議を取り入れる教会も多いとお聞きしています。管区では、3月6日の第66(臨時)総会も昨年10月の総会のように、各教区をZoomで繋ぐ形での開催を予定しています。通常はひとところに集まり、顔と顔を合わせて話し合う総会ですが、対面での開催が叶わない中、昨年の総会では、「〇〇総会が例年でない特別な開催方法であることに鑑み、本総会に限り、その議事運営について日本聖公会法規や総会細則に定めのない事柄に関しては、議場の承認を得て最善策を講じることとする。」と総会の議事運営に関する件を先決議案として決議し、行ないました。書面決議でも最初にこのような承認を得ておく必要があると思います。文化庁からも「Webによる投票や決議、書面決議などについては、後々問題にならないように合意を得ておけばよい」という回答を

## 口会議・プログラム等予定

(2021年1月25日以降および  
前回未掲載分)

※現時点での予定です。

延期や中止の可能性もあります。

### 1月

- 19日(火) 第66(臨時)総会第1回書記局会議〔管区事務所+Web〕
- 28日(木) 正義と平和・沖縄プロジェクト会議〔Web〕
- 29日(金) 正義と平和・原発問題プロジェクト会議〔Web〕

### 2月

- 1日(月) 主事会議〔管区事務所〕
- 3日(水) ハラスメント防止・対策担当者打合せ〔Web〕
- 4日(木) 法憲法規委員会〔Web〕
- 8日(月) ～10日(水) 定期主教会〔前橋〕
- 12日(金) 日韓協働委員会〔Web〕
- 15日(月) 祈祷書改正委員会〔Web〕
- 19日(金) 年金委員会〔Web〕
- 19日(金) 常議員会〔Web〕
- 22日(月) 聖公会・ルーテル教会協議会小会議〔Web〕
- 25日(木) 正義と平和・原発問題プロジェクト会議〔Web〕
- 26日(金) 宣教協議会実行委員会〔Web〕

### 3月

- 2日(火) ～4日(木) 管区共通聖職試験〔各教区〕
- 6日(土) 第66(臨時)総会〔管区事務所+Web〕
- 10日(水) 教役者遺児教育基金・建築金融資金運営委員会〔管区事務所+Web〕
- 12日(金) 聖公会・ルーテル教会協議会〔Web〕
- 16日(火) 人権問題担当者会〔Web〕
- 26日(金) 財政主査会〔管区事務所+Web〕
- 30日(火) 管区共通聖職試験委員会〔Web〕

❖2020/11/25(水)より当面、就業時間の短縮と隔日出勤(平日 月・水・金は10:00-16:30出勤、火・木は在宅勤務)。在宅勤務でもメールの送受信は可能です。

得ていますので、各教会でもご参考になさってください。

2月17日から大斎節が始まりますが、今年は冒頭の聖句を選びました。様々な困難の中にあっても、私たちが心を裂き、イエスさまの十字架に立ち帰ろうとすると、圧倒的な慈しみと憐れみと恵みがそこにあることを知ります。不安や痛み、災いの中にある世界中の人々に心を寄せて祈り、行動していくことが希望の福音に生きる私たちの務めだと思えます。主は取り去られる方であると同時にお与えになる方、自然を含む私たちすべてのいのちを創り、大切なものとして愛して下さる方です。復活のいのちを信じ、「主に立ち帰る」ことに徹したいと思えます。

今年1年の歩みが恵み多き1年となりますように。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(前頁より)

<関係諸団体会議・他>

- 1月21日(木) NCC 役員会 [Web]
- 25日(月) WCRP 日本委員会新春学習会
- 26日(火) NCC 役員会 [Web]
- 27日(水) NCC 常議員会 [Web]
- 28日(木) ~ 29日(金) 外キ協全国協議会 [Web]
- 2月3日(水) ACT ジャパンフォーラム運営委員会 [Web]
- 16日(火) 文化庁・不活動宗教法人対策会議 [Web]
- 3月2日(火) ~ 3日(水) 第7回9条世界宗教者会議 [Web]
- 15日(月) NCC 第41回総会 [Web]
- 24日(水) 日本キリスト教連合会常任委員会 [Web]

## □常議員会

第65(定期)総会期第3回 2020年12月28日(月)

<主な決議事項>

- ① 大斎克己献金国内伝道強化プロジェクト申請に関して、東北教区「ヴァイアル山荘改築」および大阪教区大阪聖三一教会「地域小規模児童養護施設の建設プロジェクト」への支援を承認した。それぞれの計画の進捗状況などの共有も今後の課題として大事にしていくこととした。

次回以降の会議：2021年2月19日(金)、4月13日(火)

志願者：執事 ルカ柳原健之

\* 両日とも司式・説教：主教 ステパノ高地 敬神戸

- ・ 聖職按手式 2021年2月11日(木・祝) 10時半 日本聖公会神戸教区 神戸聖ミカエル大聖堂 司式：主教 オーガスチン小林尚明 説教：司祭 バルナバ瀬山会浩 司祭按手志願者：執事 テモテ遠藤洋介



† 逝去者 霊魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

司祭(特任) パウロ西澤誠太郎(中部・退) 2020年12月22日(火)(94歳)

## □各教区

### 北関東

- ・ 第88(臨時)教区会 2021年2月11日(木・休) 10時半~15時 志木聖母教会 議案：「主教補佐」の設置及び指名・承認の件など

### 京都

- ・ 聖職按手式 2021年2月23日(火・祝) 一大斎節第1主日の週火曜日-13時 日本聖公会京都教区 四日市聖アンデレ教会 司祭按手志願者：執事 アンデレ江渡由直
- ・ 聖職按手式 2021年2月27日(土) 一大斎節第1主日の週土曜日-10時半 日本聖公会京都教区 富山聖マリア教会 司祭按手

### \*お詫びと訂正

管区事務所発行『2021年度 教会暦・日課表』訂正箇所

聖餐式聖書日課 B年 3月28日/7頁

復活前主日

福音書(誤) マコ(1:32-72), 15:1-39, 4:(40-47)

→ (正) マコ(14:32-72), 15:1-39, (40-47)

聖書日課・詩編 第1年 2月24日/24頁

使徒聖マッテヤ日

祭色 (誤) 紫赤 → (正) 赤

2020年教区会選出常置委員				
北海道	聖職	大町信也(長)	下澤 昌	永谷 亮
	信徒	沖田京子	矢部幸子	大友 宣
東北	聖職	長谷川清純	八木正言	涌井康福
	信徒	赤坂有司(長)	畠山秀文	坂水かよ
北関東	聖職	矢萩栄司(長)	斎藤 徹	鈴木伸明
	信徒	廣瀬 清	谷川 誠	養田 博
東京	聖職	中川英樹(長)	笹森田鶴	卓 志雄
	信徒	植松 功	後藤 務	黒澤圭子
横浜	聖職	田澤利之(長)	宇津山武志	片山 謙
	信徒	中林三平	村井恵子	岩井讓治
中部	聖職	中尾志朗(長)	江夏一彰	後藤香織
	信徒	牛島達夫	池住 圭	下条和子
京都	聖職	大岡左代子(長)	出口 崇	古本靖久
	信徒	佐々木靖子	出口 弘	高垣成美
大阪	聖職	柳 時京(長)	千松清美	内田 望
	信徒	辻 節子	太田幸彦	辻 彩乃
神戸	聖職	芳我秀一(長)	上原信幸	瀬山会治
	信徒	覚前康子	松田嘉彦	宮永好章
九州	聖職	牛島幹夫(長)	李 浩平	小林史明
	信徒	東 美香子	細川眞二	秋山大路
沖縄	聖職	戸塚鉄也(長)	金 汀洙	西平妙子
	信徒	大倉信彦	立田晴記	洲鎌君代

## 《人事》

### 東北

- 執事 テモテ遠藤洋介 2021年4月1日付 神戸教区より出向を受け入れる。  
(期間 2021年4月1日～2024年3月31日)
- <信徒奉事者認可および分餐奉仕協力許可> 2021年1月1日付(任期1年)
- (盛岡聖公会) ルカ赤坂 徹、ペテロ阿部禧典
- (山形聖ペテロ教会) ハンナ秋山直美、マタイ山崎 薫
- (仙台聖フランシス教会) サムエル影山敬信、ヨセフ長井 淳、チャールズ八代 現、サムエル渡部正裕

### 横浜

- 司祭 アンドリュー デンジャーフィールド 2021年1月1日付 横浜クライスト・チャーチ牧師および横浜聖山手聖公会協働司祭に任命する。
- 2021年1月1日付 ミッション・トゥー・シェアーズ横浜のチャプレンとして認可する。(任期 2021年5月31日まで)
- 司祭 ダニエル竹内一也 2020年12月31日付 横浜クライスト・チャーチ管理牧師を解任する。
- 2021年1月1日付 横浜クライスト・チャーチ協働を命ずる。
- <信徒奉事者認可> 2021年1月7日付 (任期1年)
- (静岡聖ペテロ教会) マルコ平岡義和

### 中部

- 司祭 ダビデ市原信太郎 2020年10月30日付 日本聖公会東京教区への出向延長を命じる。  
(期間: 2024年3月31日まで)

**京都**

サムエル 藤井和人	2021年1月1日付	日本聖公会聖職候補生に認可する。
ダビデ 梁 權模	2021年1月1日付	日本聖公会聖職候補生に認可する。
司祭 バルトロマイ 三浦恒久	2021年3月31日付	新宮聖公会牧師の任を解く。
	2021年3月31日付	定年により退職とする。
	2021年4月1日付	主教ステパノ高地敬のもとで新宮聖公会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 テモテ 宮嶋 眞	2021年3月31日付	定年により退職とする。
	2021年4月1日付	大阪教区からの要請を受け、桃山学院に囑託チャプレンとして出向することを許可する。(任期1年)
執事 アンデレ 江渡由直	2021年3月31日付	桑名エピファニー教会および四日市聖アンデレ教会牧師補の任を解く。
	2021年3月31日付	定年により退職とする。
	2021年4月1日付	主教ステパノ高地敬のもとで、桑名エピファニー教会および四日市聖アンデレ教会において、囑託執事として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 サムエル 門脇光禪	2021年3月31日付	桑名エピファニー教会管理の委嘱を解く。
司祭 ヤコブ 岩田光正	2021年3月31日付	四日市聖アンデレ教会管理の委嘱を解く。
司祭 サムエル 奥 晋一郎	2021年3月31日付	八木基督教会、桜井聖保羅教会および田原本聖救主教会牧師の任を解く。
	2021年3月31日付	西大和聖ペテロ教会管理の委嘱を解く。
	2021年4月1日付	京都復活教会牧師に任命する。
主教 ステパノ 高地 敬	2021年3月31日付	桃山基督教会、京都復活教会および京都聖ヨハネ教会管理の委嘱を解く。
	2021年4月1日付	八木基督教会、桜井聖保羅教会、田原本聖救主教会、新宮聖公会、桑名エピファニー教会、四日市聖アンデレ教会の管理を委嘱する。
司祭 ヨハネ 石塚秀司	2021年4月1日付	願いによって復職を許可する。
	2021年4月1日付	主教座聖堂付とする。八木基督教会での礼拝協力を命じる。
司祭 マタイ 古本靖久	2021年4月1日付	西大和聖ペテロ教会の管理を委嘱する。
司祭 アントニオ 出口 崇	2021年3月31日付	京都聖ヨハネ教会および京都復活教会協働司祭の任を解く。
	2021年4月1日付	京都聖ヨハネ教会の管理を委嘱する。
司祭 セシリア 大岡左代子	2021年3月31日付	平安女学院大学チャプレンとしての出向を解く。
	2021年3月31日付	彦根聖愛教会管理の委嘱を解く。
	2021年4月1日付	桃山基督教会の牧師に任命する。
司祭 プリスカ 中尾貢三子	2021年3月31日付	金沢聖ヨハネ教会牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	チャプレンとして平安女学院大学への出向を命じる。
司祭 アンデレ 松山健作	2021年3月31日付	聖光教会牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	金沢聖ヨハネ教会牧師に任命する。

司祭 サムエル小林宏治	2021年3月31日付	立教学院への出向を解く。
	2021年4月1日付	聖光教会牧師に任命する。
	2021年4月1日付	彦根聖愛教会の管理を委嘱する。
司祭 モーゼ石垣 進(退)	2021年4月1日付	司祭テモテ内田望のもとで、岸和田復活教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 アンデレ小松幸男(退)	2021年4月1日付	司祭エレナ古本みさのもとで菰野聖マリア教会(伝道所)において囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
<信徒奉事者認可>	2021年1月1日付	(任期1年)
(岸和田復活教会)	チャニング熊取谷志郎、ヒルダ岸 雅子	
(京都復活教会)	グレゴリオ加藤 大	

### 神戸

司祭 マルコ藤井尚人	2021年3月31日付	神戸聖ヨハネ教会牧師の任を解く
	2021年4月1日付	広島復活教会牧師に任命する
	2021年4月1日付	呉信愛教会管理牧師を委嘱する
司祭 トマス河村博之	2021年3月31日付	神戸聖ミカエル教会副牧師の任を解く
	2021年4月1日付	神戸国際大学チャプレンに出向を命ず (期間2021年4月1日～2024年3月31日)
司祭 ヨシユア長田吉史	2021年3月31日付	広島復活教会の牧師の任を解く
	2021年3月31日付	呉信愛教会管理牧師の委嘱の任を解く
	2021年4月1日付	神戸聖ミカエル教会副牧師に任命する
司祭 オーガスチン與賀田光嗣	2021年3月31日付	立教英国学院出向の任を解く
	2021年4月1日付	神戸国際大学附属高校チャプレンに出向を命ず (期間2021年4月1日～2024年3月31日)
司祭 イサク坪井 智	2021年3月31日付	神戸教区主教座聖堂主日勤務の任を解く
	2021年4月1日付	神戸聖ヨハネ教会の管理牧師を委嘱する(定住)
執事 テモテ遠藤洋介	2021年3月31日付	神戸聖ミカエル教会牧師補の任を解く
	2021年4月1日付	東北教区出向を命ず (期間2021年4月1日～2024年3月31日)

### 九州

<信徒奉事者認可および分餐奉仕協力許可>	2021年1月1日付	(任期1年)
(福岡聖パウロ教会)	有村元伸、酒井 健、下村仁士、園木一男、外池圭二	
(小倉インマヌエル教会)	東 美香子、石垣 献、河原 忍、金野実加枝、櫻井隆一、 平上千鶴子、溝上孝司、ピーター・フリーボーン	
(佐世保復活教会)	辻 裕子	
(鹿児島復活教会)	大内新子、岡積正子、川崎祐子、藤田啓子、森田誠也	
<信徒奉事者認可>	2021年1月1日付	(任期1年)
(福岡ベテル教会)	蓑田紘子	
(直方キリスト教会)	君原 實	
(久留米聖公教会)	真木信行	
(佐賀聖ルカ伝道所)	佐藤 群	
(熊本聖三一教会)	秋山みどり、島 卓郎	
(大分聖公会)	小河正雄、古澤正之、平本有記映	



## 各教区人権担当者会から見えて来るもの

—さまざまな問題にかかわる基底となるものは—

管区人権問題担当主教 主教 イグナシオ 入江 修

コロナ禍にあって、昨年の9月に「過疎地における人権」をテーマに北海道で開催されることになっていた日本聖公会の人権セミナーは今年2021年に延期となり、昨年12月に開催された各教区人権担当者会も一堂に会することができず、オンラインでの1日のプログラムとなりました。

教区ごとに行なわれた報告をお聞きしていると、原発や新型コロナ(Covid-19)に関わるような全国的な課題もありますが、他方では地域性のあるものも少なくないように思います。各教区では、それぞれの地域でさまざまな取り組みがあることが分かり、人権に関わる課題は幅広いものがあります。人間の尊厳が傷つけられたり、損なわれたりしていることのすべてが課題となるからです。

そして、そうした課題が、実はただその地域だけのものでは決してなく、人権ということではその根底で繋がり合っている課題であることを受け止め、私たちが常に共通の課題として担い合っていくことが、解決への歩みを後押ししてゆくことになるのだと思います。

人権というと、権利の面が強調されるように感じることもあるかも知れませんが、それは人間の尊厳、つまり人が人として尊ばれるということであって、私たちに与えられている信仰によりますと、神さまの「あれ」という御言葉、すなわち「存在しなさい」とお命じになった神さまの御心に基いたものです。そこに根拠が置かれているのであって、それは、神さまのご意志が基になっています。

神さまのご意志によって存在している一人一人であるからこそ、その尊さが損なわれたり、存在

が脅かされたりすることがあってはならないのです。

そして、それをどのように私たちが受け止めていくことができるかといえば、「隣人を自分のように愛する」ということではないでしょうか。それは、私たちが出会った目の前にいる人、また私たちが祈りの内に憶える人すべてを、神さまが造られ、存在させられた者として尊ぶ、つまり、その人を受け容れるということです。その人を受け容れるということは、その人を造られた神さまの御心を受け容れることです。

受け容れるというのは、主イエスさまが人びとを憐れまれたように私たちが憐れみの心をもって、出会う人、祈りに憶える人の痛みや悲しみに心を開いて共感し、いっしょに痛み、悲しみ、重荷を負い、その人の傷を自らの傷として傷つくとことだと思えます。

各教区がそれぞれ関心を持ち、また実際に取り組んでいることを聞き合うことによって、自分自身がまだ気づかずにいた課題に気づかされたり、いろいろと苦労されながら活動を続けているようすを聞いて励まされ、人権問題に関わっていくところで共感し、ここからまた前に向かって進もうとする力を与えられたりいたしました。

その意味では、関心を持つことがまず何よりの第一歩となります。アンテナをあちこちに向けてその感度を上げ、日々、関心を持ち続けていくことだと思えます。すべての課題にすぐに対応するのは難しい時もありますが、関心を持つことは私たちの祈りとなり、祈りが続けられていけばそれはいつか、小さくとも確かな取り組みへと私たちを押し出していくことでしょう。

皆さんの身の回りで、存在の尊さが損なわれたり傷つけられたりしていることが起こっていないか、関心をもっていただくことが、人権問題への取り組みの裾野を広げていくこととなります。そしてそれは、私たちがイエスさまに倣い、その

御跡を辿ることになるのです。

これからも各教区の人権担当の皆さんの働きをお憶えいただき、祈りとお支えをよろしくお願い申し上げます。



## 差別やハラスメントの現実と向き合う

### ～2020年度各教区人権担当者会を開催して～

管区人権問題担当者 司祭 クリストファー 奥村貴充

2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各教区・各教会、関連学校・施設が対応に振り回された年でした。管区の人権問題担当者が携わる春の新任「人権」研修会や秋の人権セミナーも来年度に延期になったり、同宗連や部キ連の活動もほぼできなくなったりしました。そのような中であっても、今回の各教区人権担当者会が昨年のようにはいきませんが、Web方式とはいえ12月8日(火) 午前10時から午後3時まで開催することができたのは主の導きがあったからだと思います。

この各教区人権担当者会は以前、秋の人権セミナーが終わったあとに人権担当者だけが残って各教区の報告をしていました。しかし、それでは時間に余裕がなく十分に噛み砕いて分かち合うことができないという理由から、2016年より別の日程で開催場所などを東京や大阪など適宜変えながら1泊2日で行なわれてきました。内容も充実させ報告・分かち合いはもちろんのこと、フィールドワークを中心とした学びの機会も設けてきました。今回で19回目の開催となります(別日程ですようになったのは5回目)。

今回開催するに当たって8月25日(火)にWeb会議で行なわれた管区の人権問題担当者会ではコロナ禍に鑑み次の3案が出されました。1つ目

は「今期(註:第64(定期)総会期)人権問題担当が中心となって例年通り12月に行なう」というものでした。2つ目は「次期(註:第65(定期)総会期)人権問題担当に委ね、別の時期に行なう」という案、そして3つ目が「今年度は中止とする」という案でした。管区の人権問題担当者会で様々な可能性を踏まえて検討した結果、中止するのは良くないという結論になりました。それで、これまでのような1泊2日の開催は、同宗連や部キ連などがこの時期に相次いで中止している現状に鑑みると難しいかもしれないということもあって、妥協案になるかもしれませんが、1つ目の案を修正した形でWeb会議により行なうことになったという次第です。

当然、時間的な制約もかなりあるため、次のような開催としました。第Iセッションが10時から12時までの各教区報告(管区も含む)、第IIセッションが13時30分から15時までの人権の学びです。第Iセッションは、全ての報告が終わってから質疑応答となりました。管区の人権問題担当と各教区人権担当の報告でほぼ共通しているのがコロナ禍の中で活動をどうしていくのかという悩みでした。また例年と同じく、それぞれの教区で直面している課題を共有することができました。この紙面で全て網羅できませんが、例えば過疎地における人権の課題、原発に係わる課

題、外国人との共生、ハラスメント相談体制の整備、米軍基地問題などが挙げられます。

第IIセッションは昨年まではフィールドワークをしていた学びの機会なのですが、今回は「第65(定期)総会 人権の学び」録画ビデオ視聴をすることにしました。

講師は在日大韓基督教会 在日韓国人問題研究所(註:1974年設立、日本のマイノリティ教会として在日コリアンの人権獲得をめざす)『RAIK通信』編集長、外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(註:1987年結成、在日大韓基督教会の牧師・宣教師・信徒、カトリック教会の宣教師たちの指紋拒否の闘いに連帯する。略「外キ協」)事務局次長、福島移住女性支援ネットワーク(註:2012年結成。略「EIWAN」)代表、移住者と連帯する全国ネットワーク(註:1997年結成。略「移住連」)理事など、多方面に亘って活躍されている佐藤信行氏による人権の学びです。『「コロナ危機」でさらに排除される人々～移民・難民緊急支援基金から見えてくる現状と課題～』という講演でした。その主たる内容は「移民社会」を迎えた日本社会において「多国籍・多文化」化するカトリック教会や日本基督教団の実例、外国人が特別給付金支給の対象から排除される問題に伴う移住連による「新型コロナウイルス 移民・難民緊急支援基金」の立ち上げと経済支援、そして戦前からの日本の外国人(異民族)政策の推移をドイツと比較した話では、ドイツが歴史責任と向き合うことによる1990年代の移民政策の転回が印象的でした。この第IIセッションは録画ビデオなので質疑応答はできないため、各教区人権担当者の参加者同士で課題について話し合う予定でしたが、終了予定時間が近づいたので入江主教による閉会の挨拶と倉澤司祭による閉会祈祷を以て散会しました。

ところで、私は部落差別意識が根強く残っている地域で生まれ育ちました。就職・結婚差別の話が大人同士の会話で飛び交うこともよくありました(実際、差別によって自死に追い込まれた

実例もあります)。最初は何を言っているのかわからなかったのですが、次第に差別をする人がいて、差別される人がいて当然のこととして受け止めるようになりました。このように周りの大人が差別的な言動をしたり、被差別部落の人たちを蔑称で言ったりしていたのを聞きながら過ごした小中学生時代でしたので、自分の中にも無意識的・意識的に差別意識を持つようになったのは事実です。

実は2012年の初夏、管区から人権問題担当の委嘱状が手許に送られてきた時は、自分がこの担当をしてもいいのかわかどうかわ迷いました。そしていざ管区の仕事や同宗連、部キ連の役を担い始めると、自分があたかも差別しないかのように振る舞いました。しかし、間もない内に差別しない側にいるというのは不可能であること、その行ないは偽善かつ誤りであると気づかされました。そして大切なことは差別する側にいることを認識し、それと向き合うこと、課題意識を持つことだと確信するようにならされていきました。諺で「雀百まで踊り忘れず」と言われるように、完全に差別意識を払拭することは不可能ですが、ほんの少しずつでも人権意識を改めていくことはできます。各教区人権担当者会の課題の共有をはじめ、各種学びの機会は自分の内にある差別性を見つめ直すために必要なものです。

そして、今も各地で部落差別やハラスメントの問題が起こっています。加害者にとっては謝罪をすればもう終わりのように見えても、被害者にとっては一生傷を負う出来事も多々あります。さらには加害者も意識の低さという問題を背負ったままなので、差別等の問題を再発してしまいます。今回の各教区人権担当者会、管区の総会人権の学び、人権セミナー、新任「人権」研修をはじめとしたこれらの取り組みは、課題意識を共有し、自分がいかに差別性・加害性を持っているか気づくことにあります。先ほど触れたように、こうした差別性・加害性をなくすのは不可能です。ただ、課題意識を持つか持たないかで、その後の生き方が変わってきます。各教区人権



担当者会での課題の共有と人権の学びは、自分の中に課題意識を再認識するためのものです。ただ、残念ながら「まだそんな研修してんのか」と言われたことがあります。しかし、インターネットによる差別の書き込みや、つい数年前に部落地名総鑑の復刻版が出版されそうになった事例などを考えると、もう終わった過去のことではなくて今の課題です。だからこそ、課題の共有と学びの機会が必要だと言えるのです。

最後になりますが、今回の各教区人権担当者会を開催して改めて感じさせられたことは各教区の課題の根は同じだということが第1点。第2点は差別やハラスメントといった問題は特定の誰かが起こすのではなく、どこの教区・教会でも起こり得ることだということです。そういう中で自分も間違いを犯す1人であって、問題意識を持ちながら、自分の差別性・加害性と向き合うことは、これからも向き合う一生の課題なのだと再認識した担当者会でした。

## ■ Web 会議の報告

### 各教区が当面する諸問題

管区人権問題担当者 難波美智子

2020年12月8日午前10時から、各教区人権問題担当者会が開かれました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響のためWeb会議で実施され、各教区から11名の人権担当者と管区人権問題担当者5名、宣教主事、広報主事、総主事、人権問題担当主教の20名が出席しました。

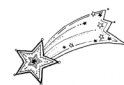
新しく人権問題担当主教になられた入江修主教から挨拶があり、その後第1セッション、各教区と管区人権問題担当からの報告、質疑応答、意見交換がありました。多くの教区に共通する問

題、その教区に特有の問題、たとえば原発に関わる問題、核廃棄物最終処理場建設の問題、基地の問題など、また他のエキュメニカルな団体との連携・協働についてなどさまざまな活動が報告されました。コロナウイルス感染の問題でいろいろ計画していた活動、集会等が出来ない状況にも関わらず、それぞれの教区で工夫、努力され、人権問題に取り組まれていることを知ることができました。

午後からは第2セッション「第65(定期)総会人権の学び」の録画ビデオ、佐藤信行氏による「コロナ危機」でさらに排除される人々―「移民・難民緊急支援基金」活動から見えてくる現状と課題―を視聴して意見交換をしました。

マスコミでも何回か報道されていましたが、日本在住の外国籍の方、中長期在留者の方、留学生等、母国に帰ることもできず、仕事はなくなり、特別給付金も対象外、また様々な役所の手続等も困難な状態で非常に生活に困窮されている。5月に立ち上げた移民難民緊急支援基金は8月末までに49,763,962円が寄せられ、移民・難民1,651人を支援することができたそうです。この結果には少しほっとしましたが、日本の移民難民に対する政策の貧困を考えさせられました。

今回はWeb会議でしたが、コロナの感染拡大が早く収まり、次回は皆さんの顔を見ながら、同じその場の空気に触れて話し合いたいと思いました。



## 📖 管区・出版物案内

『大斎節中の礼拝』 頒価 税込 374円

第7刷発行

お求めは聖公会書店Tel 04-2900-2771 またはお近くのキリスト教書店にお願いいたします。

## 新型コロナウイルス（COVID-19）に関連する 各教区の対応

### 北海道教区 礼拝（公禱）の休止なし

- ・教会での礼拝は主日・週日いずれも定時に行ない、誰でも参加可能。
- ・礼拝に関して不安や恐れがある信徒は自宅で礼拝を守ってもよい。

### 東北教区 礼拝（公禱）の再開

- ・主日礼拝等については、2020/6/7より再開。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

### 北関東教区 礼拝（公禱）の一部休止

- ・埼玉伝道区内の教会・礼拝堂は、緊急事態宣言発出日より礼拝（公禱）を休止する。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

### 東京教区 礼拝（公禱）は再休止中

- ・礼拝について、公開での礼拝は2020年12月27日以降休止中。
- ・葬儀および礼拝堂の公開などは、感染防止の対策の上、それぞれの教会・礼拝堂の状況にあわせて、実施可能。
- ・インターネットによる礼拝等の配信をおこなっている教会がある。

### 横浜教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・2020/5/25付の礼拝指針(改訂版)の再確認と徹底。
- ・在籍外の教会、また教区を越えての礼拝出席は控える。
- ・東京都に隣接する神奈川県および千葉県北西部地域に在住で健康に不安のある人は、公共交通機関を利用しての来教を控える。
- ・ウイルス感染再拡大への対応として、それぞれの教会(または地域)の感染状況により、各教会で礼拝再休止の判断をする。
- ・2021/1/10より神奈川と千葉で公開の礼拝中止。

### 中部教区 礼拝（公禱）の再開または再休止

- ・2020/6/1以降の主日及び週日の礼拝再開時期は『礼拝再開に関するガイドライン』に基

づき各教会で判断。

- ・緊急事態宣言下のエリアにある教会は原則礼拝等休止。

### 京都教区 礼拝（公禱）休止の教会が多く なっている

- ・各教会で判断。2021/2/7まで主日礼拝を休止する教会が多くなっている。緊急事態宣言が延長されれば、それに応じた対応をする見込み。

### 大阪教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・2021年1月11日から2月13日までの礼拝を休止することを認める。
- ・特に、高齢者や体に不安を抱える方には自宅での祈りの時を持つことを強く勧める。
- ・最終的には各教会の判断を尊重する。

### 神戸教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・教区内の教会・伝道所は聖餐式(一種陪餐または前部、み言葉の礼拝)を行なっている。
- ・兵庫県と一部地域の教会・伝道所では、礼拝を自粛中。

### 九州教区 礼拝（公禱）の一部休止

- ・無理に主日礼拝に来ることをお勧めしない(体調の悪い方・公共の交通機関で教会に来られる方など)。

### 沖縄教区 礼拝（公禱）の休止

- ・沖縄県が出している緊急事態宣言発令中の礼拝は休止。

### 管区事務所

- ・2020/11/25よりしばらくの間、就業時間の短縮と隔日出勤(平日 月・水・金は10:00-16:30で出勤、火・木は在宅勤務)。
- ・在宅勤務でもメールの送受信は可能。緊急の場合は管区事務所総主事の司祭 矢萩新一まで。

(2021年1月22日現在)

## A Christmas Message from the Archbishop of Canterbury to the Anglican Communion

Posted on: December 21, 2020 10:50 AM

When there is a year like the year that we have had, I am overwhelmed with emotion at belonging to the Anglican Communion. You are such dear and wonderful sisters and brothers in Christ.



We are all in such different places. There have been some common features: the economic downturn; Covid in many, many countries. The common feature in which I rejoice is that you and we have reached out to Jesus Christ and he has responded and the sign of that response has been the heroism, the strength, the brilliance of the way that so many of us have lived.

So as we come towards the end of this year, to Christmas and the New Year, my prayer is that God strengthens all of us to love one another, to love our neighbours and to carry the love of Christ into a world that more and more shows its need of the news of Salvation, of repentance, of change.

May God give you - in whatever circumstances you are - a wonderful Christmas. A Christmas in which you know his love. And may He protect you and guard you, and us, in unity and hope, in this coming year.

アングリカンコミュニオンに向けて

### カンタベリー大主教からのクリスマスメッセージ

ジャスティン・ウェルビー カンタベリー大主教

かつてなかったような1年を過ごし、私はアングリカン・コミュニオンに所属していることに深い感動を覚えています。皆さまはキリストにあって、とても大切で素晴らしい兄弟姉妹です。それぞれに離れた場所におりますが、私たちにはいくつかの共通点があります。一つは大変多くの国に影響を与えた新型コロナウイルスによる景気の後退です。

喜ぶべき共通の特徴もあります。それはあなたと私たちがイエス・キリストに手を伸ばし、そしてイエスがそれに応えてくださったことです。交わされた応答の証しは、私たちの多くが生きてきた道のりに援助力、強さ、輝きとなって刻まれています。

ですから、今年の終わり、クリスマスと新年を迎えるにあたり、私は、すべての人が互いに愛し合い、隣人を愛するように強めてくださることを祈り、そして変化、悔い改め、救いの知らせをますます必要としている世界に、キリストの愛を届ける力を強めてくださることを祈ります。

あなたがどのような状況に置かれていようと、神があなたに素晴らしいクリスマスを与えてくださいます。神の愛を知るクリスマスとなりますように。

そして来る年においても、神があなたを護り、あなたと私たちを結び合わせ、希望によって守ってくださいますように。

## 世界の聖公会の動向

- ☆ カンタベリー大主教、ランベス会議に向けて「祈りの旅」を開始
- ☆ 教皇、大主教、総会議長がエキュメニカルなクリスマス書簡で南スーダンの平和を祈る
- ☆ 米国聖公会総裁主教マイケル・カリー師からのクリスマス・メッセージ

管区渉外主事 司祭 ポール・トルハースト

### ○ カンタベリー大主教、ランベス会議に向けて「祈りの旅」を開始

気候危機、貧困、経済的不公正、紛争、不平等などの進行中の問題とともに、COVID-19の問題に世界が依然として直面している今、カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師は、「世界のための希望の祈り」を共有するために、ランベス会議に向けて祈りの旅を開始した。

「祈りの旅」は、世界中のクリスチャンに対する世界の諸問題のための祈りへの参加の呼びかけであり、聖公会の主教、聖職者、信徒によって共有された様々な祈りで形づくられている。これらの祈りの多くは、ロックダウン期間中にヴァーチャルな技術を介して記録され、アングリカン・コミュニオンに連なる教区や国々から送られてきたものである。

祈りは、希望、福音宣教、パンデミックへの対応、人々、地球、平和、政治、正義、貧困などの日常的なテーマに焦点が当てられている。

ウェルビー師はまた、祈りの旅についてのビデオメッセージの中で、パンデミックのために2022年に再延期された聖公会の主教会議に向けて、この祈りの時節がランベス会議のコミュニティが共に旅をするスタート地点になるという認識を示した。2021年は、会議を準備するコミュニティを、テーマのいくつかに関するヴァーチャルまたは地域的な一連の議論に参加するようにと招く予定である。

ウェルビー師はビデオメッセージでランベス会議について次のように述べた。「世界の多くの

問題や、わたしたち聖公会の生活の中での共通の関心事に取り組む機会を提供します。わたしたちはいつものように、この旅を祈りのうちに始めます。このような困難な時代、そして世界がさまざまな課題に直面している今、わたしたちは神に耳を傾け、世界のニーズに注意を払い、祈りとニーズを共有しながら互いに愛しあう必要があります。」

### ○ 教皇、大主教、総会議長がエキュメニカルなクリスマス書簡で南スーダンの平和を祈る

カンタベリー大主教は、カトリック教会の教皇とスコットランド国教会の総会議長と共に、南スーダンの政治指導者に向けたクリスマスの共同書簡において、平和のための新たな歩み寄りを要請した。この中で、ジャスティン・ウェルビー大主教、教皇フランシスコ、マーティン・フェア総会議長は、指導者たちが成し遂げた「小さな進歩」を歓迎しつつも、南スーダンの人々にとっては十分なものではないと述べた。この各教派の指導者たちは、条件が許せば、現地への歴史的な共同訪問を行なうことを約束している。

2019年4月、教皇フランシスコの招待により、ジャスティン大主教はスコットランド国教会の総会議長と共に、政治指導者たちのためにバチカンで霊的な修養会を実施した。リトリートの最後に、教皇フランシスコは南スーダン政府と野党の指導者たちの靴にひざまずいてキスをするというドラマチックな表現により、「戦争によって、

すべてが失われることを忘れないでください」と述べて平和を追求するよう促した。

そしてこのほどクリスマス・イブに発表された書簡の中で、3人の教会指導者は次のように述べた。「わたしたちは2019年4月にパチカンで行なわれた声明を祈りと共に心に留めています。平和協定の円滑な実施が、あなたたちの国にもたらされますように、そして物事が正常に戻るにつれて、わたしたちの南スーダン訪問が実現しますように。」

南スーダンは2011年にスーダンから独立した世界で最も新しい国であるが、2013年12月に内戦が勃発し、南スーダンの教会は、2018年にサルバ・キール大統領とリーク・マッハール博士をはじめとする野党指導者たちが署名した平和協定の仲介・調整に協力してきた。

#### ○ 米国聖公会総裁主教マイケル・カリ師からのクリスマス・メッセージ

*Joy to the world! The Lord is come: let earth receive her King; let every heart prepare him room, and heaven and nature sing.*

(聖歌 もろびとこぞりて 英語歌詞)

み民よ 喜べ! 主は きませり  
主を迎えまつれ  
諸人(もろびと) 心を開きて主を迎えまつれ  
天も地も歌う

おそらくわたしと同じように、あなたも教会や家で家族と一緒に、あるいは友人や隣人と集まって、この聖歌を幾年も歌ってきたことでしょう。もしかしたら、車の中や散歩中、夜の暗闇の中で静かに歌ってこられたかもしれません。

み民よ 喜べ!

感染症の大流行が病と死をもたらし続けているため、今年は喜びを感じないかもしれませんが、恐れと不信、つまり暗闇が光を克服する恐れ

があるこのとき、わたしたちはイエス・キリストを信仰する者として、この痛ましい世界にも喜びを見出さなければなりません。わたしたちは暗闇に光をもたらさなければなりません。

み民よ 喜べ!

わたしたちの人生の多くのことがそうであるように、喜びを宣言することは困難な務めですが、— とりわけ今こそ、有益かつ必要不可欠な務めであるでしょう。わたしたちは、わたしたちの人生、家族、地域社会で失われたものを悼みつつ、世界の喜びを祈ります。

憎しみと偏見と怒りでねじれた茨のつるを引き上げようと努力しているときにも

— み民よ 喜べ!

涙を流し、歯を食いしばっているときにも

— み民よ 喜べ!

なぜなら、神はわたしたちの人生に、そしてこの世界に新たに分け入ってくださるからです。

今年はかつてない年ではありますが、イエスがわたしたちに与えてくださるミニストリーは変わりません。わたしたちは、イエスがわたしたちに求めておられるミニストリーを引き受けることにより、わたしたちの心の中に主を迎え入れるのです。飢えている人に食事を与えましょう、見知らぬ人を歓迎しましょう、裸の人に服を着せましょう、病気の人を癒しましょう、囚人を訪ねましょう。

神を愛しなさい。隣人を愛しなさい。この古い世界に喜びを歌ってください。主を迎え入れてください。

使徒聖ルカは最初のクリスマスについてこう書き記しています。「マリアは初子の男子を産み、産着にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊る所がなかったからである」。そこには、最もシンプルなベッドで、凍える夜の中、飼葉桶の中で



産着にくるまれ、部屋のない御方が横たわっています。そして不思議なことに、宇宙でさえも封じ込めることができない偉大な御方がそこにいるのです。

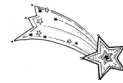
*Joy to the world! The Lord is come. In your hearts, in your homes, in your lives, prepare him room.*

み民よ 喜べ! 主は きませり  
あなたの心に、あなたの家に、あなたの人生に、

主を迎えまつれ

神はあなたを愛します。神の恵みがありますように。そして神がわたしたちすべてをその全能である愛の御腕に抱いてくださいますように。

大主教 マイケル・B・カリー  
米国聖公会総裁主教



## 教会の声 / 読者の声

### 聖書日課資料 B 年が完成

主の平和

主日の聖書日課資料B年版が完成しました。これでA年版、C年版と三年分すべて揃いました。この案内を管区だよりに載せて頂ければ幸甚です。

内容はカトリック聖書センターから出された聖書資料(著作者:雨宮慧神父)を聖公会の日課表に基づいて編集したものです。

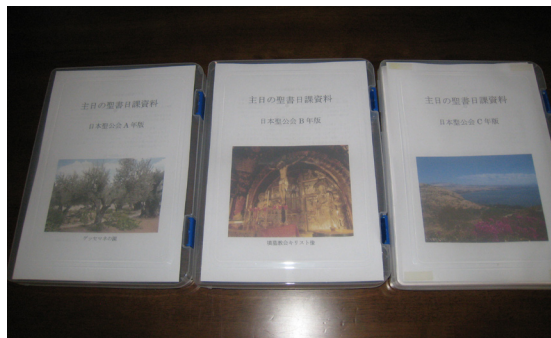
頒布価格は各年度版とも送料込みで¥4,000.-となっています。

お申し込み・お問い合わせは

東京教区澁谷聖公会聖ミカエル教会  
ヒルダ・ミッシェル宣教事務局宛に  
Fax又はEメールにてお願いします。

メールアドレスは  
shibuya.st.michael@gmail.com  
Fax は 03-3409-2938

(東京教区 澁谷聖公会カエル教会 山田益男)



「教会の声 / 読者の声」欄への寄稿をお待ちします。内容・字数は自由。執筆人名・教会名を明記して郵便またはメールでお送りください。宛先は管区事務所・広報主事。(com-sec.po. @ nskk.org)



2021年

あなたがたの衣ではなく心を裂き  
あなたがたの神、主に立ち帰れ

主は恵みに満ち、憐れみ深く  
怒るに遅く、慈しみに富み  
災いを下そうとしても、思い直される  
(ヨエル書2:13 聖書協会共同訳)

大齋節  
2月17日  
~4月3日

日本聖公会



## 『聖公会手帳』2022年度版発行に当たってのお願い

『聖公会手帳』では巻末の特集欄で、日本聖公会が幅広く関わる学術・教育・文化・医療・福祉などの諸分野にわたる社会的活動を〈事業紹介〉として掲載してまいりました(『聖公会手帳2021』382～409頁を参照)。現在編集中の2022年度版『聖公会手帳』では、この〈事業紹介〉の趣旨に

賛同し出稿していただける事業所を新たに募集しております。記事掲載の申し込み・詳細等について管区事務所にお問い合わせください。2021年7月15日までをお願いいたします。

☎03-5228-3171 (総務主事または広報主事宛て)

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。